

拠点での口頭説明文の例について

2022/8/28

YWK の活動として、拠点での防災訓練に参加した際、訓練に参加している区民に向けて、アマチュア無線と非常通信に関わる我々の活動を口頭で説明する機会があります。そのような時に話をする内容として参考になる文例を作成しました。

これはあくまで参考例であり、この通りに話してくださいという事ではありません。実際の説明の場面では、聴衆の状況に合わせて説明者本人の言葉で語ることが大切だと思います。聞く側は、話しの内容よりも、話し手の表情、声の調子、仕草の印象が残ると聞きます。その点も留意していただき、我々YWKの活動を理解いただけるよう、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

次ページに説明文の例を載せます。

[拠点での口頭説明文の例]

アマチュア無線と非常通信について

万騎が原小学校（訓練の拠点名）にお集まりの皆さん、こんにちは。（自己紹介）
今日はアマチュア無線と非常通信についてお話いたします 皆さんはアマチュア無線の事はご存じでしょうか？ それは、個人が趣味で使える無線局の事です。免許は国家試験で手に入れるのですが、講習会というものもいろいろな場所で開かれていますので、これを受けることで小学生でも簡単にもらう事ができます。高校生までですと講習会にかかる費用も安く済みます。
家族皆さんで免許を取得して家族でアマチュア無線を楽しんでいる人もいます

今回はアマチュア無線と非常通信について少し説明します

非常通信というのは 地震 台風 洪水 津波などの非常事態が発生し、又は発生するおそれがある場合において、スマホなどを利用することが出来ないか、又はこれを利用することがとても困難であるときに人命の救助 災害救援 などのために行われる無線通信です。平成 23 年（2011 年）3 月 11 日に発生した東日本大震災では、多くのアマチュア局が、地方自治体に協力するなどして、被害情報の収集や安否情報の伝達等、人命の救助や災害の救援等のための非常通信を実施し、社会的に大きな貢献をしました。

旭区の小学校、中学校のうち **37** の学校にはアマチュア無線局が設置されています。災害が発生した場合、旭区役所がコントロールして小学校、中学校の拠点から災害の情報をアマチュア無線によって収集します。そして旭区役所が判断して、緊急を要するものから対応するようになっていきます。横浜市アマチュア無線非常通信協力会のメンバーは、ボランティアで皆さんの命と生活を守る活動をします。

アマチュア無線の楽しさについて

皆さんの中には、アマチュア無線ではご近所さんと通信できるだけなのかなと思っている人もいますが、全世界地球の裏側、南米のブラジルやアルゼンチンなど世界各国と交信出来るのです。自分が行ったことの無い国と交信して綺麗な外国の交信カードも直ぐに電子メールで届きます。とても感動しますよ。海外通信で語学が必要ない通信方法を使うこともできます。その上、災害発生時には非常に役に立つのです。是非興味がある人はご相談ください
アマチュア無線についてご相談に乗ります